

平成24年度 公の施設目標管理型評価書【新潟市會津八一記念館】

施設名	新潟市會津八一記念館		
管理者名	公益財団法人會津八一記念館	指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日
新潟市主管課	新潟市文化観光・スポーツ部文化政策課		
所在地	中央区	住所	西船見町5932番地561
根拠法令	-		
設置条例	新潟市會津八一記念館条例		
施設概要	設置：昭和50年4月（平成10年市へ寄贈） 施設規模：鉄筋コンクリート，延床面積533.02㎡ 施設内容：第1展示室，第2展示室，応接室，事務室，学芸室，収蔵庫 料金区分：大人500円，大学生300円，高校生200円，中・小学生100円		

施設設置目的	
會津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、及び展示することにより、會津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資するため	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
會津八一の遺墨・遺品・著書をはじめ會津八一に関する資料を調査研究し、文学・芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、郷土新潟の文化振興とともに、わが国の教育・学術の興隆に寄与する（公益財団法人會津八一記念館定款第3条より抜粋）	

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	広報の充実	ホームページアクセス件数年間 2万件以上	24,277件	A	昨年度は評価指標を下回ったが、充実した情報発信に努め目標を達成した
	基準利用者数の達成	入場者数年間7,500人以上	15,545人	A	市等を行った交換展入場者が10,973人に達した
	各種サービス別満足度	展示に対する感想「よかった」以上が80%以上	91%（入館者アンケート結果）	A	
		接客に対する満足度で「普通」以上を80%以上	98%（入館者アンケート結果）	A	
	苦情・要望に対する対応	苦情、要望には速やかに対応	駐車場が狭い、常設展示室がない等やむを得ない苦情・要望以外は速やかに対応している。	B	
	設置目的に合致したサービス提供	文芸講演会の実施件数を年4回以上	13回、参加者2,336人	A	
		アウトリーチ活動の実施	17回、参加者2,598人	A	
その他	入館者に占める県外者比率が20%以上	18%（入館者アンケート結果）	C	継続した取り組みを図ること	
財務	管理運営経費の節減	管理運営経費を指定管理料年度協定額以下（平成24年度予算額：34,678千円）	34,678,000	B	
	市の歳入の増加	使用料収入を年間2,600千円以上	5,036,480円 (交換展3,426,700円/常設展1,609,780円)	A	交換展を含む使用料収入が大幅に増加した
業務	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守している	B	
	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	遅くとも翌月5日迄に提出	B	
	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	5月の決算役員会迄に提出	B	
	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	勧告なし。	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	責任者は事務長。施設の安全管理は事務長と総務係、委託業者が一体で遂行。入場者の安全確保は全職員。展示の安全は学芸員。日常連絡の濃密化を推進。	A	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底	写真コンテスト授賞式で受賞者の一人がくも膜下出血で倒れた経験より、緊急時の必要物品を用意	B	入場者に配慮した危機管理意識を施設内で共有すること
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	職員に当館令規集配布し精読を義務付け	B	
守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	当館の個人情報保護規定や作品借出者・鑑定依頼人の匿名性保護を徹底。	B		
人材	配置人員条件の充足	学芸員を常時1人以上配置	勤務日を調整し常時1人以上の学芸員を配置	B	
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員研修を年1回以上実施	上部団体の研修会に積極参加している。	A	
	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	休日出勤の場合は代休をとるなど、過重労働にならないよう注意している。	B	

総合評価（所見）	
24年度は特別展として京都市の金閣・銀閣をもつ相国寺内の承天閣美術館と当館との交換展を、新潟市と京都市で同時開催を敢行した。新潟市では「若冲・応挙」展を市歴博と当館の2会場で開催し、総入館者3万713人を記録した。他方、京都では「最後の文人 會津八一」展を催し、総入館者6301人を達成。約60日の期間中に講演会6回を両市で開催し、聴講者1269人を数えた。この交換展が同年度末に「新潟市・京都市観光文化交流宣言」を京都二条城で調印する成果を挙げた。交換展を除く常設展3回でも総入館者4572人となり、前年同期比27%増だった。奈良に続く京都でも會津八一の普及に全館挙げて奮闘し、対外的活動に自信を深めている。市内中学・高校の修学旅行に際して事前学習や寺院への斡旋依頼など増加しており、普及が進行している。	